

子どもを元気に
富士山プロジェクト

NPO法人グラウンドワーク三島

能登半島地震支援活動 

募金活動にご協力ください

2024年1月1日(月)午後4時10分、石川県志賀町で震度7の甚大な地震が発生しました。静岡県内はもちろんのこと、北海道から九州にかけ広い範囲で揺れを観測するとともに、津波被害も沿岸部で発生して住宅被害が出ました。石川県は12日午後2時時点、死者は215人、安否不明者28人と公表しています。現在も余震が多発し、被災者の方々の心と体への影響は計り知れません。

そこで、グラウンドワーク三島では被災児童・親子の「心のケア」を支援するために、東日本大震災の被災者2,400人の招待実績を踏まえ、今回、「子どもを元気に富士山プロジェクト」を立ち上げます。

事業内容としては、能登半島地域の被災者の方々に被災され心と体のケアが必要とされている児童や親子を、三島や富士山、伊豆に招待する「心を元気にするショートツアー」を実施します。

具体的には「水の都・三島を楽しむエコツアー」や「富士山に登って元気になろうツアー」「スポーツ交流で汗を流すツアー」、被災地に悪臭がしない「バイオトイレ」を搬入・設置等を実施していきます。

つきましては、今後、この活動を実現し、持続させていくためには、安定的な資金確保が必要不可欠です。多くの方々の「募金活動」へのご協力・ご支援を、是非とも、お願いいたします。



野外での被災者との交流会

参加者には、三島の水辺や伊豆の温泉、富士山登山、スポーツ交流などでリフレッシュしてもらい、人々との交流を通して、疲れた心と体を癒し「元気と笑顔」を取り戻していただきます。(標準コース:2泊3日)



源兵衛川水辺散策・エコツアー



子どもサッカー交流



心を元気にするショートツアー

皆様からの
ご支援を
お願いします

「グラウンドワーク三島 能登半島地震 子どもを元気に富士山支援募金」協力へのお願い

募金受付口座:三島信用金庫 本店営業部(店番号001) 普通 1242599

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 理事 小松 幸子(ユキコ)

「能登半島地震」で被災され「心のケア」を必要としている被災児童・親子や、し尿処理問題で衛生環境が悪化し「バイオトイレ」の搬入・設置を必要としている地域をご存知でしたら、まずは事務局にご連絡ください。



【主催・お問合せ】NPO法人グラウンドワーク三島 事務局 (担当:美和、山下)

〒411-0857 静岡県三島市芝本町6-2 電話 055-983-0136 (平日9~18時)

Eメール info@gwmishima.jp

URL <http://www.gwmishima.jp>

今回、「能登半島地震」被災地に搬入・設置するバイオトイレ

富士山頂に設置して延べ2万人以上の
登山者に使用していただきました！

■バイオトイレの特徴

- ・ 水洗の水を循環利用（給水・排水不要）する自己完結型の環境にやさしいトイレです。
- ・ ノンコンポスト型（杉チップ使用）のトイレであり、コンポスト型（オガクズ使用）と違い交換不要で維持管理費が安価です。
- ・ 悪臭がまったくしません。
- ・ 本トイレ（S型）の処理能力は1日160回（最大230回/日）、単相100V、ヒーター使用・冬季使用可能。他にもM型（便槽2基 200回/日）、L型（便槽6基 300回/日）のタイプがあります。
- ・ 避難指定場所で通常使用すれば「被災地に水洗トイレがない」の心配はありません。
- ・ 4tトラックで各所の避難場所へ移動可能です。
- ・ 避難所にある仮設トイレをバイオトイレの反応槽に接続すれば処理可能です。
- ・ 災害時は、通電または発電機による電源確保ができれば問題なく運転できます。

■バイオトイレS型（サイズ W3,030×D2,020×H2,850、重量3t）



■バイオトイレの仕組み

